

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

処理施設整備事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【事業の内容】

(1) ダイオキシン類削減対策施設整備事業

- ・名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。
- ・今泉クリーンセンター事務所の賃借料を支出した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

クリーンセンター周辺環境調査(3-3-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,791	15,939	15,939		0

主な支出内訳

・ダイオキシン類削減対策施設整備事業

名越・今泉クリーンセンター周辺環境調査業務委託料

6,258

今泉クリーンセンター事務所賃借料

9,681

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-10 処理施設整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1107	ダイオキシン類削減対策事業				
		1210	ダイオキシン類削減対策事業				
主管課	環境施設課	関連課	名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	名越クリーンセンター周辺地域と今泉クリーンセンター周辺地域の大气環境調査、土壌環境調査を行い、焼却による周辺環境への影響を調査する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	15,939千円	13,566千円	15,771千円	各調査地点は基本的に同じ。大気調査は毎年度、土壌調査は3年に1回実施。		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	15,939千円	13,566千円	15,771千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人件費	9,583千円	9,650千円	9,624千円			
事務事業 運営経費	総事業費	25,522千円	23,216千円	25,395千円			
	市民1人当りの経費	145円	132円	145円			
	対象者1人当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
環境基準適合率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) なし
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 名越クリーンセンター周辺については、平成18年度から大気及び土壌の環境調査を開始し、その結果を公表した。平成20年度は、今泉クリーンセンター周辺については大気・土壌に係る調査を、名越クリーンセンター周辺については、大気調査を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も定期的に焼却施設周辺の大気及び土壌の環境調査を実施していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	今後も定期的に名越クリーンセンター及び今泉クリーンセンターの排ガス等に係る周辺環境調査を実施し、調査結果については周辺住民に公表することで施設の安全性について認識していただき安心の確保を図っていく。		
担当課長氏名:	環境施設課長 柿崎 雅之		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	焼却施設の周辺地域における大気・土壌の調査の実施、結果の公表が周辺住民の施設に対するご理解に寄与していることから、今後も名越・今泉クリーンセンター周辺の大気及び土壌の状況を定期的に調査していきます。		
担当部名	環境部長	部長名	勝山 洋